

週日の説教

金 大烈 神父 2010年6月10日(木)

《もっと積極的に・・・》

私は、毎週木曜日に高崎まである大学に講義の為に通っています。今日は、少し早めに出かけて時間的に余裕が出来たためか、途中で何度も車のボンネットの汚れが気になりました。帰り道でも気になり、お金を払って洗車をしようか、それとも自分で洗おうか、と迷いました。そして結局、自分で洗いました。しかし、きれいに洗って司祭館に入り、20分くらいすると雷雨となりました。

このような時、自分のしたことが無駄になったと思うのではなく、逆に、少し我慢をして自分で洗ってよかった、と思ったらどうでしょうか。お金をかけてワックスまで塗ってきれいにしていたら、もっと腹が立ったと思います。“せっかく洗ったのに”と腹を立てるのはやめて、“これは幸いだった”と思うのが、私たちの望ましい態度ではないかと考えてみました。そうではありませんか。この世の中、このようなことは結構ありますよね。今日は、雨が降るとは思えないような日でした。しかし予想のつかないことは結構起こります。そのような時、どのような心でぶつかればよいのか、少し黙想ができた一日でした。

さあ、今日の福音(マタイ 5・20 26)に入ってみましょう。イエス様より前の旧約時代の人々が、モーセの律法で教えられていたのは、ほとんどが消極的な教えでした。「・・・するな」でした。「悪いことをするな」ばかりでした。しかしイエス様が来られてからは、同じことでも「消極的に『・・・しない』」のではなく、積極的に『・・・する』ようにしなくてはいけない」と教えられるようになりました。たとえば、律法では、「殺してはいけない」から殺さなければよかったのです。しかし、イエス様は、「ただ殺さないだけでなく、殺したい気持ちさえ無くして、その人を赦し、和解し、愛さなければいけない」と教えられました。

今日の福音も全く同じです。「供え物を捧げようとするきれいな心を持っているのに、自分の心を傷つけた人、逆に自分が心を傷つけてしまった相手が思い出されるのならば、まずその人と仲直りをしてから捧げなければ、真の捧げものにはならない。」とおっしゃっています。そしてたとえとして、「あなたを訴える人と同じ道、同じ空間にいる時に、それに気付いたら、相手の人が訴える前にまず和解をなさい。」とおっしゃっています。これは、私たちが積極的に動かなければならないことをおっしゃっているのです。私たちは、勇気がなくて、面倒くさくて、“ここまでしなくてもよいのではないか”という心になり、なすべきことから逃げてしまうことも結構あります。私たちには、もっと自ら進んで動こうとする心が必要なのです。

そしてもう一つ思ったのは、2000年前の話なのに、2000年後の今の時代の私たちにも全く時代の差がなく通じる内容だ、ということです。そうですね。ミサに与っていても、“気の合わない人がいるから、できるだけその人の後ろ姿が見えないところに座りたい”と思うことがありますよね。それは

もう 2000 年前と全く変わりはありません。たぶんこれからの時代、もっと裕福で豊かな教会になっても、こういうことは同じように続くと思います。大事なのは、その中にいる私たちが、どのような心で、どのような信仰の生活をするか、です。

善いことをしようとしているのに、妨げようとする人もいます。わざわざ妨げなかったとしても、結果としてはその人が邪魔になってしまった場合も結構あるでしょう。そして、ごく普通のことを話ただけなのに、隣で聞いた人が自分のことを言われたと誤解することもあります。結局、個人個人に任されている知恵が必要なのです。

私たちはみんな、いろいろな弱さを持っていますが、イエス様を信じて従おうとする心の人々の集まりです。それを意識して、少し進んでいる人は前から引っ張り、少し不足している人は前の人に引っ張られて、一緒に少しずつ動ければ、それが一番望ましい教会の姿になるのではないかと思います。そして、この世の中では『完璧』は無理だと思います。ただ、イエス様は「御父が完全な方であるように、あなたがたも完全なものになりなさい」とおっしゃいました。それは、できるからそのようにおっしゃったのでしょうか。では、何ができるのでしょうか。それは「完全なものになること」ではありません。「完全なものになろうとする心を持つこと」です。もし罪があったら(毎日犯す罪ですが)、その罪から痛みを感じて、その罪を捨てようと努力することです。誰に出会っても「この出会いは神様がくださった関係だ」と思い、その人のために最善を尽くして心を配ろうとする心を持つことです。ミサに与る時、できるだけみ言葉やイエス様のみ心を体験しようと集中しようとすることです。それらによって、私たちがもっとふさわしくなれるのではないかと思います。

ありがとうございました。